

助成者	河西 実	活動期間	2018年4月～2021年12月
所属機関	特定非営利活動法人 フェア・プラス	職名	事務局長

## フィリピン山村マリナオ村における自然環境とアバカ・マクラメ編みとの調和による持続可能な村の暮らしの再生

【活動場所】 フィリピン バナイ島マリナオ村

【事業目的】 バナイ島山村のマリナオ村の人たちは、何代にもわたり村周辺に自生するアバカの木から採取した繊維を編んで手工芸品を作り生活の糧としてきたが、2013年大型台風（ハイヤン）により村は壊滅的な打撃を受けた。フェア・プラスは当時より村へ食糧支援やアバカの再生へ協力しているが、今後更に自然環境の保護に配慮した形でアバカの植林を進め、自然環境と伝統技法「アバカ・マクラメ編み」によるクラフトづくりの調和による、持続可能な村の暮らしの再生に取り組む。



屋外でのマクラメ編みトレーニング



### 【活動内容】

- ①政府専門家を招聘しアバカの植生と自然環境研修の開催
- ②アバカの植林地選定と植林の実施（過去植林地整備、生育状況調査含む）
- ③若者中心としたマクラメ編み技法伝承のトレーニング実施
- ④写真家金サジ氏、デザイナー井澤洋子氏の協力による工芸品発信力強化
- ⑤工芸品の海外展開支援（台中市繊維工芸博物館への出展）
- ⑥日本への販路拡大支援（京都籐織りとの協働を求めた交流）

### 【活動成果】

アバカの植林やトレーニング、台湾への出展など計画どおり進んでいたが、2019年12月再度台風がマリナオ村を直撃し住宅9割が全半壊、植林したアバカの半数が倒された。その後コロナが起り、最終年度は当初予定した交流活動は出来ず、リモートでの活動になった。ただしマクラメ編みトレーニングや植樹も再開し、現地における持続可能な村づくりへの活動は続けられた。